

【 1 】 次の文を読んで問いに答えよ。

足利尊氏は臨濟僧 1 (ア. 夢窓疎石 イ. 蘭溪道隆 ウ. 無学祖元) のすすめもあって 1341 年 2 (ア. 建長寺 イ. 竜安寺 ウ. 天龍寺) 船を派遣した。1401 年には豪商 3 (ア. 肥富 イ. 末次平蔵 ウ. 今井宗久) や僧 4 (ア. 栄西 イ. 鑑真 ウ. 祖阿) に国書を持たせて、三代将軍 (a) は日明間の国交回復につとめた。1404 年には①条約が日本・明国間に締結され、明から得た A□□符をもとに貿易を始めた。遣明使は上陸した港 5 (ア. 広州 イ. 寧波 ウ. 上海) で査証を受け、6 (ア. 南京 イ. 北京 ウ. 長安) で交易した。ところが、貿易は B□□形式で行われたため、四代将軍 (b) はこれを屈辱外交と非難し中断した。しかし、室町幕府の財政は非常に苦しかったため六代将軍 (c) は、貿易の利を捨てきれず、1432 年には宣徳約条を結び、国交を再開した。この②日明貿易の実権は、はじめは幕府の握るところであったが、応仁の乱を機に博多商人と結ぶ大内氏、堺商人と結ぶ C□□氏の手に入り、両者はその勢力を競い合った。7 (ア. 1510 イ. 1519 ウ. 1523) 年に中国の上陸した港 (5) で衝突した。その後、大内氏の独占するところとなり、この貿易は 1551 年に大内義隆が 8 (ア. 陶晴賢 イ. 毛利元就 ウ. 豊臣秀吉) によって滅ぼされるまで続いた。

問 1 1～8 は () の中から正しいものを選び、記号で答えよ。(知識・理解)

問 2 (a) ～ (c) にはいる人名を次から選び、記号で答えよ。

ア. 義昭 イ. 義持 ウ. 義政 エ. 義教 オ. 義満

問 3 下線部①が結ばれた時の明の皇帝を次から選び、記号で答えよ。(知識・理解)

ア. 煬帝 イ. 玄宗 ウ. 洪武帝 エ. 永楽帝

問 4 下線部②について次の問いに答えよ。

I 輸入品を次から選び、記号で答えよ。(知識・理解)

ア. 屏風 イ. 生糸 ウ. 刀剣 エ. 銅

II 輸出品を次から選び、記号で答えよ。(知識・理解)

ア. 絹織物 イ. 薬品 ウ. 硫黄 エ. 銅銭

問 5 A～C の□□にあてはまる漢字を記せ。□には漢字 1 字はいる。(知識・理解)

【 2 】 次の文を読んで問いに答えよ。

1392年部将1（ア. 李舜臣 イ. 李成桂 ウ. 朱元璋）が2（ア. 高句麗 イ. 新羅 ウ. 高麗）を滅ぼして李氏朝鮮を建国し、都を漢城〔現在の3（ア. ソウル イ. ピョンヤン ウ. プサン）〕においた。A□□の活動に苦しめられた朝鮮は、1419年にその根拠地と思われた4（ア. 壱岐 イ. 隠岐 ウ. 対馬）を1万以上の大軍で襲った。これを5（ア. 応永 イ. 永仁 ウ. 応仁）の外寇という。このため①日朝貿易は一時中断したが、1443年に6（ア. 尚氏 イ. 宗氏 ウ. 陳氏）と朝鮮の間で7（ア. 明徳 イ. 天正 ウ. 嘉吉）条約（または癸亥約条）が締結され、公貿易が開始されることになった。この貿易には通信符が用いられ、港は②三浦に限定された。三浦と都漢城には交渉の基地としてB□□が設けられた。8（ア. 1510 イ. 1592 ウ. 1597）年におきた三浦の乱以後、日朝貿易は衰退していった。

問1 A～Bの□□にあてはまる漢字を記せ。□には漢字1字はいる。（知識・理解）

問2 1～6は（ ）の中から正しいものを選び、記号で答えよ。（知識・理解）

問3 下線部①について次の問いに答えよ。

I 輸入品を次から選び、記号で答えよ。（知識・理解）

ア. 大蔵経 イ. 蘇木 ウ. 刀剣 エ. 銅

II 輸出品を次から選び、記号で答えよ。（知識・理解）

ア. 絹織物 イ. 人参 ウ. 木綿 エ. 硫黄

問4 下線部②は、富山浦（ a ）・乃而浦（ 薺浦 ）・塩浦（ b ）のことである。

（ ）の中の a・b にあたるものを次から選び、それぞれ記号で答えよ。

（知識・理解）

ア. 釜山 イ. 平壤 ウ. 蔚山 エ. 仁川

【 3 】 中世外交史の正誤問題

次の1～10のA・Bの文章中の組み合わせはどれか。次から選び、記号で答えよ。

- | | | |
|------------|------------|---------|
| ア. A-正 B-正 | イ. A-正 B-誤 | |
| ウ. A-誤 B-正 | エ. A-誤 B-誤 | (思考・判断) |

1. A 足利義満は、1401年、明に使者を派遣して国交を開いた。
B 第1回遣明船の正使は足利義満の側近の僧祖阿、副使は博多商人の肥富であった。
2. A 遣明船は、明から交付された勘合と呼ばれる証票を持参することを義務づけられた。
B 日明貿易は、将軍足利持氏が朝貢形式に反対して一時中断した。
3. A 日明貿易は、将軍足利義政の時に宣徳条約を結んで、再開された。
B 朝貢形式の貿易は、滞在費はすべて明側が負担したが、運搬費は日本側が出した。
4. A 日明貿易における日本からの輸出品には、刀剣・扇・絹織物などがあった。
B 日明貿易における日本への輸入品には、銅銭・生糸・陶磁器などがあった。
5. A 日明貿易は、堺の商人と結んだ細川氏と長崎の商人と結んだ大内氏が実権を握った。
B 日明貿易は、1523年、中国の港広州で、大内氏の貿易船と細川氏の貿易船が争った。
6. A 日朝貿易は、対馬の高氏を通して通交についての制度を定め、貿易を統制した。
B 日朝貿易は、刀伊の外寇により一時中断したが、16世紀まで活発に行われた。
7. A 朝鮮は、日朝貿易のため富山浦・乃而浦・塩浦の三港を開いた。
B 朝鮮は、首都ソウルに日本の使節の接待と貿易のための倭館を置いた。
8. A 日朝貿易における日本からの輸出品には、銅・硫黄・香木などがあった。
B 日朝貿易における日本への輸入品には、木綿・大蔵経・絹織物などがあった。
9. A 前記倭寇とは、日本の鎌倉末期～南北朝の頃、壱岐・対馬などの土豪・漁民を中心に活動した武装集団をいう。
B 後期倭寇とは、16世紀半ば、明の海禁政策に反して中国南部で密貿易を行った武装集団のことで、大部分は日本人であった。
10. A 琉球王国は、1429年に中山王の李成桂が北山を滅ぼし、さらに南山を征服して琉球を統一してできた王国である。
B 琉球王国は、明・日本・朝鮮・東南アジアの中継貿易を行った。その結果、東南アジアの特産品が琉球・日本を経て朝鮮にもたらされた。

解答

【1】問1 1 (ア) 2 (ウ) 3 (ア) 4 (ウ)

5 (イ) 6 (イ) 7 (ウ) 8 (ア)

問2 a (オ) b (イ) c (エ)

問3 (エ)

問4 I (イ) II (ウ)

問5 A 勘合 B 朝貢 C 細川

問1～問4は各1点、問5は各2点 合計 20点

【2】問1 A. 倭寇 B. 倭館

問2 1 (イ) 2 (ウ) 3 (ア) 4 (ウ)

5 (ア) 6 (イ) 7 (ウ) 8 (ア)

問3 I (ア) II (エ)

問4a (ア) b (ウ)

問2は各1点、問1・問3・問4は各2点 合計20点

【3】1 (ア) 2 (イ) 3 (エ) 4 (ウ) 5 (エ)

6 (エ) 7 (イ) 8 (ア) 9 (イ) 10 (ウ)

各2点計20点